

平成26年12月18日

関係教育機関の長 殿

大阪大谷大学学長
尾山 眞之助 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

このたび、本学では以下により教員の公募をいたしますので、貴機関関係各位に周知方よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

1. 募集職名・人員：准教授または専任講師 1名
2. 所属：大阪大谷大学文学部歴史文化学科
3. 研究分野：日本中近世史
4. 担当授業など
 - ・文学部及び大学院文学研究科における主として日本史（主に中近世史。非文献資料を含む。）に関連する講義・演習・実習・論文指導等（主に歴史文化学科として開講している授業である点にご留意ください）。
5. 採用予定日：平成27年4月1日
6. 応募資格：以下の条件に該当する方
 - ①博士の学位を取得済み（着任までに取得見込みも可）あるいはそれと同等以上の能力をもつこと。
 - ②古文書調査等の経験がある者がのぞましい。歴史学実習などを担当してもらう場合がある。
7. 提出書類（①～⑤の様式は自由）
 - ①履歴書：1部
顔写真貼付、連絡先（住所・電話番号・携帯電話番号・メールアドレス）、学歴、職歴、教育歴を記すこと。
 - ②業績リスト：1部
全業績について題目・発表年月・掲載誌名・巻号数・掲載頁・単著共著の別・査読の有無を記載すること。著書、論文、その他などに分類し、分担執筆の場合は担当箇所を明示すること。また、主論文1篇に◎印、副論文2篇に○印を付すこと。なお、「著書」や「調査報告書」、「博士学位論文」を主論文・副論文とすることはできません。それらについては、④で言及してください。
 - ③主論文とその概要（1000字以内）、副論文とその概要（同左）：各3部（別刷またはコピー）
 - ④これまでの研究・教育活動の概要（2000字以内）：3部
 - ⑤採用後の研究・教育活動計画の概要（2000字以内）：3部
8. 提出方法
 - ・簡易書留で一括送付すること。宅配便等による送付は認めません。
 - ・おもてに「歴史文化学科教員公募書類在中」と朱書きすること。提出書類は返却しません。
9. 提出先：大阪大谷大学学長 尾山眞之助（〒584-8540 大阪府富田林市錦織北3-11-1）
10. 提出期限：平成27年1月20日（火）必着
11. 選考方法等：書類選考
 - ・書類選考ののち、面接を行う場合があります。その場合は別途お知らせします。面接にあたり必要となる旅費・滞在費等の経費はすべて応募者の負担とします。
12. 問合せ先：大阪大谷大学文学部歴史文化学科 学科長 竹谷俊夫 E-mail: taketat@osaka-ohotani.ac.jp
13. その他
 - ・応募書類により取得する個人情報 は本人選考にのみ利用し、この目的以外で利用することはありません。

平成26年12月19日

各国公私立大学長
各関係機関長

殿

岩手大学人文社会科学部長
長野 俊一
(公印省略)

欧米史担当教員（産休・育休代替教員）の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本学部では下記の要領で教員（産休・育休代替教員）の公募を行うことになりました。今回の公募は当該分野の准教授が平成28年3月31日まで産後休暇及び育児休業を取得することから、これを補うものです。

ついては、ご多忙中誠に恐縮ですが、貴機関の関係者等への周知方、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 職名及び人員 准教授 1名
- 2 主な教育担当学部 人文社会科学部・国際文化課程・欧米言語文化コース
及び研究科 大学院人文社会科学研究科国際文化学専攻
- 3 専門分野 西洋史（中世以降の歴史を専門とする者が望ましい）
- 4 担当授業科目 (1) 全学共通教育科目：欧米の歴史と文化など
(2) 専門教育科目：
（主に個人で行うもの）欧米史特講、欧米史講義、欧米史演習など
（複数の教員で行うオムニバス科目など）国際文化研究、欧米言語文化論など国際文化課程あるいは欧米言語文化コース開設科目
(3) 大学院科目：欧米史学特論、欧米史学特別演習
- 5 応募資格 (1) 採用時において、修士以上の学位を有する者（博士の学位が望ましい）
(2) 以下のいずれかに該当する者
 - ・ 公刊された学術論文5編以上を有する者（修士・博士学位論文を含めてもよい）
 - ・ 専攻分野について、優れた知識及び経験を有すると認められる者
- 6 採用予定期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日
- 7 応募締切日 平成27年1月23日（必着）
- 8 応募書類 (1) 履歴書（写真貼付、所属学会、e-mail アドレスを記載して下さい）
(2) 研究業績一覧（書式は自由。著書、学術論文、学会発表、報告書、翻訳などに分類して記載して下さい）
(3) 主要な研究業績3点（論文の場合は抜き刷り各5部、単著の単行本及び学位論文は各2部、いずれもコピー可）
(4) 上記(3)の各研究業績の概要（1点につき800字程度、ただし、単著の単行本及び学位論文については2000字程度）
(5) これまでの主たる担当授業科目名
(6) 科学研究費等外部資金取得状況と受賞歴の一覧（該当する場合のみ）

※ 作成書類は、A4縦の用紙に横書きし、それぞれ別個の書類として作成して下さい。

※ 履歴書に必ず連絡を取ることのできる手段（e-mail アドレス、携帯電話番号など）を明記して下さい。

※ 追加ですべての業績（コピー可）及びその他必要な書類の提出を求めることがあります。

※ なお、提出された書類は返却しませんので、あらかじめご了承下さい。

9 選考内容 書類審査。必要に応じて面接または模擬授業による審査を行います。その場合には平成27年2月中旬までに通知する予定です。

10 書類送付先 〒020-8550 盛岡市上田3丁目18-34

岩手大学人文社会科学部長 長野 俊一 宛

※ 封筒の表に「欧米史担当教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付して下さい。

11 問い合わせ先 岩手大学・人文社会科学部・国際文化課程 樋口 知志

TEL:019-621-6724（直通） E-mail: higuchi@iwate-u.ac.jp

12 その他

(1) 採用に当たっては、平成27年4月1日から産休・育休取得予定教員の育児休業開始日の前日までを「国立大学法人岩手大学プロジェクト職員就業規則」に定める「プロジェクト職員」として採用し、育児休業期間を「国立大学法人岩手大学産休補助職員等就業規則」に定める「育児休業補助職員」として採用します。

(2) 岩手大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。両住まい手当制度や子育て・介護中の研究者に対する支援策等についてはこちらをご覧ください：
<http://www.iwate-u.ac.jp/gender>。

(3) 応募、面接または模擬授業のために必要な費用（郵送料、旅費等）は応募者負担になります。

(4) 応募書類に含まれる個人情報については本選考のみに使用し、他の目的には使用しません。

(5) 本学における教員の選考基準は「国立大学法人岩手大学教員選考基準」及び「岩手大学人文社会科学部教員選考基準」に定められており、その基準に従って選考します。

(6) 採用後の給与・勤務条件は国立大学法人岩手大学の定める規定によります。

以上

海上保安大学校教官公募

1. 職名及び員数

准教授または講師 1名

2. 専門分野

英語学、英語教育学、英米文学等の英語関連分野

3. 授業担当科目

基礎及び専門分野に関する「英語」

4. 応募資格及び条件

(1) 専門分野に関する博士の学位を有する者、あるいはそれに準ずる業績を有する者

(2) 日本国籍を有する者

(3) 海上保安大学校の教育方針を理解し、教育と研究に熱意を持っており、校務や社会貢献などにも積極的に取り組む者

(4) 大学等での英語教育経験(非常勤講師も含む)のある者

※次のいずれかに該当する方は、応募資格がありません。

(1) 日本国籍を有しない者

(2) 国家公務員法(昭和22年法律第120号)第38条の規定により国家公務員になることが出来ない者

・ 成年被後見人又は被保佐人

・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者

・ 懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

5. 応募期限

平成27年2月9日(月) 提出書類必着

6. 採用時期

平成27年4月1日付(予定)

7. 待遇

国家公務員教育職(一)の俸給表適用

8. 提出書類

- (1) 履歴書 (写真貼付)
- (2) 研究業績リスト (著書、学術論文、その他に分類して記載)
- (3) 主要論文等の別刷及びそれらの日本語要旨 (5編以内、コピー可)
- (4) 現在までの研究概要 (A4 用紙 1 枚程度、自由形式)
- (5) 本大学校での教育・研究等に対する抱負 (A4 用紙 1 枚程度、自由形式)
- (6) 健康診断書
(身長、体重、視力、聴力、血圧、胸部 X 線、心電図、尿検査について)
- (7) 推薦書 1 通、または応募者について照会できる方の氏名と連絡先
- (8) TOEFL、TOEIC のスコア証明書、もしくは実用英語技能検定試験の合格証明書

9. 選考方法

書類審査及び面接の 2 段階審査

10. 送付先 〒737-8512 広島県呉市若葉町 5 番 1 号

海上保安大学校 教務部長 井上正人 あて

※封書に「教官公募(英語担当教官)」と朱書きして書留で送付して下さい。

応募書類は原則として返却いたしません。

なお、応募書類は本選考以外に使用しません。

11. 問合せ先 海上保安大学校 教務部教務課 計画係長 松垣公徳

電話：0823-21-4961 (代) 内線 253

FAX：0823-20-0087 電子メール：kyomuka@jcga.ac.jp

(参考)

本大学校は、海上保安庁の幹部職員として海上保安業務を遂行するために必要な学術及び技能を教授し、合わせて心身の鍛錬を図ることを目的として設置された、文部科学省の大学設置基準に準拠した海上保安庁の 4 年制教育機関です。学生には海上保安庁職員 (国家公務員) としての身分が保障され、給与が支給されます。また、卒業時には大学評価・学位授与機構から学士の学位が授与されます。

このようなことから、教官方には本科の学生の教育のほか、専攻科、特修科、研修科の研修生の教育、留学生への講義、海上保安業務に関連する研究、海上保安庁の現場からの要請に基づく学術的な支援、体育活動や校内諸行事への支援、学生生活全般に対する指導などを、積極的に行っていただいております。

海上保安大学校ホームページ：<http://www.jcga.ac.jp/>

関係大学長殿
関係機関長殿

福岡大学人文学部長 星乃治彦
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では下記の要領にて専任教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ恐縮ではございますが、貴学関係者にこれをご周知いただきますと共に、適任者の応募につきご配慮たまわりたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 採用職名 専任講師または准教授
2. 募集人員 1名
3. 担当科目 共通教育英語および英語学科専門科目
(研究分野) 通訳技法(英日)または翻訳論
4. 待遇 給与および諸手当は本学給与規程による。なお、本学の定年年齢は65歳です。
5. 着任時期 平成28年4月1日から
6. 国籍 国籍は不問。日本語を母語としない場合は、学内業務に必要な日本語運用能力を有すること。
7. 応募資格 (下のイ、ロの条件をすべて満たす者)
(イ) 採用時に博士前期課程修了後3年以上の研究歴または実務歴を有する者
(ロ) 上記3.の「担当科目」を必要に応じて英語で授業を行うことができる者
8. 募集締切 平成27年3月20日(金)応募書類必着
9. 応募書類 (イ) 履歴書(本学所定の書式による) 連絡先を明記。
(ロ) 研究業績書(本学所定の書式による) 主要業績3点に○印を付す。
(ハ) 教育業績書(教育歴を有する者のみ。本学所定の書式による)
(ニ) 職務実績書(実務経験を記すこと。本学所定の書式による)
(ホ) 主要業績3点(著書・論文・実務に関わる作品等)の実物またはコピー
(ヘ) 英文エッセイ(タイトル: English Education in Japan: My Response to the Challenges Facing University Teachers) (A4版用紙1枚程度)
※(イ)(ロ)(ハ)(ニ)の書式は本学ホームページ(<http://www.hum.fukuoka-u.ac.jp/koubo/>)よりダウンロードしてください。
10. 書類提出先 〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
福岡大学人文学部長 星乃治彦 宛
※応募書類には封筒に『英語学応募書類』と朱書きし、書留郵送にすること。
※応募書類(著書・論文を含む)は原則として返却いたしません。返却を希望される場合はその旨お申し出ください。
11. 問い合わせ先
福岡大学 TEL: 092-871-6631 (代表)
人文学部英語学科 白谷敦彦 TEL: 内線3521 E-mail: atsubiko@fukuoka-u.ac.jp
12. 選考について 一次選考(書類選考)合格者に対し、二次選考(面接および模擬授業)を行います。二次選考は別途連絡します。

平成27年度 第1期 長期インターンシップ派遣希望者募集要項

平成26年12月15日
奈良女子大学男女共同参画推進機構
キャリア開発支援本部

1. 募集概要

本学は、文部科学省の平成23年度科学技術人材育成費補助事業「ポストドクター・インターンシップ推進事業」の実施機関に採択され、平成23年11月に「女性のポストドクター等のキャリアパス多様化を目指す《キャリアの壁》打開策」と題したキャリア形成支援プログラムを開始しました。このプログラムは、理系、文系を問わず、博士号取得後10年程度までの女性のポストドクターと博士後期課程の学生を対象としています。彼女達を特定の学問分野の専門能力だけでなく、産業界など実社会の多様なニーズを踏まえた発想や国際的な幅広い視野を身に付けた人材として養成し、長期インターンシップ派遣を通して、大学教員や独立行政法人研究機関の研究者以外の多様なキャリアパス（企業やNPO、NGO、自治体、博物館などへの就職）の確保を目指します。平成27年度第1期のインターンシップ派遣希望者の募集を以下のとおり行います。

2. 募集期間 平成27年2月2日（月）～ 2月28日（金） 提出期限 2月28日17時 必着

3. 募集人数 13名

4. 応募資格

- ・ 企業や団体（NPO、NGO、自治体、博物館）等への就職を希望する博士号取得者または満期退学者で、安定した職に就いていない40歳未満の女性（平成27年3月学位取得見込み、満期退学見込みを含む）（*1）
 - ・ 奈良女子大学のキャリア開発プログラム（*2）に参加した上で、希望する企業や団体等での3ヵ月以上のインターンシップに従事可能な方
 - ・ 他機関（大学）での同じ事業によるインターンシップ制度を利用した方は応募不可とする（*1）40歳以上の方で、次の要件を満たす方には別規程による支援がありますので、お問い合わせください。[要件]奈良女子大学を卒業または修了し、博士号を取得（他大学での取得を含む）、または博士後期課程を満期退学（他大学を含む）し、約10年以内の方。定員1名。
- （*2）派遣までのプロセスやプログラムの内容等については本事業ホームページ <http://cdpd.nara-wu.ac.jp/post-doc/long-internship/>を参照してください。

5. インターンシップ派遣対象者のミッション

- 1) 実践的講義、キャリアインタビュー、その他事業関連イベントへの参加
- 2) 国内の企業・団体（NPO、NGO、自治体、博物館）等での3～4ヵ月のインターンシップへの参加（派遣期間中は、当該企業・団体の業務に従事し、成果等を報告する）

6. 待遇

インターンシップ派遣前の準備期間中は、本学の研究員（CDPD）として週2時間雇用。交通費は別途支給。インターンシップ派遣期間中は、本学の研究員（CDPD-I）として雇用。週38.75時間勤務の場合、月額30万円を支給。交通費は別途支給。ただし、事業予算の変動により支給額が変更される場合もあります。

奈良女子大学ポストドクター・キャリア開発事業

7. 着任時期 平成27年4月1日以降(相談に応じます)

外国籍の方は在留資格の変更が必要な場合、それを確認できてからの採用になります。

8. 応募書類 (奈良女子大学で学位を取得、満期退学の方は2) 3)の書類は不要です)

- 1) 履歴書 (写真貼付 および メールアドレスを明記のこと)
- 2) 出身大学院発行の修了(見込み)証明書 (または満期退学(予定)を証明する書面)
- 3) 事業参加申請書 (応募様式 1)
- 4) 研究履歴・業績一覧表 (応募様式 2)
- 5) インターンシップへの抱負 (A4 用紙 2 枚) (応募様式 3)
- 6) 外国籍の方は在留資格カードの写し (表・裏両面)

※応募書類 (応募様式 1、2、3) のダウンロードは、本事業ホームページか JREC-IN (研究者人材データベース: JST) をご覧ください。

【提出先】

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 H棟 H501

奈良女子大学 男女共同参画推進機構 キャリア開発支援本部

- ・封筒に「インターンシップ派遣希望」と朱書きすること
- ・応募書類は、原則として返却いたしません
- ・応募書類は、選考ならびに合格した場合の任用手続きの目的以外には使用しません

9. 選考内容

1次選考 書類審査

2次選考 1次選考通過者による10分程度のパワーポイントを使用したプレゼンテーションと質疑応答。プレゼンテーションの内容は応募書類 5) の内容とする。

日時: 平成27年3月10日 (火) 13:00~ (予定)

場所: 奈良女子大学 コラボレーションセンター 3階 Z306教室

※2次選考の際に託児を希望される方は、メールで早めにご連絡ください。

10. お問い合わせ先

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 H棟 H501

奈良女子大学 男女共同参画推進機構 キャリア開発支援本部

Tel/Fax 0742-20-3572

Email career-k@cc.nara-wu.ac.jp URL <http://cdpd.nara-wu.ac.jp/>

11. その他

「KOJIKIプログラム」について

インターンシップに興味はあるけれども、又は就活を始めたいけれども一步を踏み出しにくいと感じている方、就活で悩んでいる方、将来のキャリアに不安を感じている方のための応援プログラムです。

対象は女性のポストドクター、単位取得満期退学者、博士後期課程の学生の方です。

無料電話相談や、自己分析、応募書類作成、面接サポートなどのご要望にお応えします。多様な経験・バックグラウンドをもつ専門のコーディネーターが、皆様のお話を伺い、お気持ちに寄り添って一緒に考えます。

フリーダイヤル 0120-894-410 (ハクシーヨイエーン: 博士良い縁)

奈良女子大学ポストドクター・キャリア開発事業

応募様式 1.

奈良女子大学ポストドクター・キャリア開発事業参加申請書

(奈良女子大学で学位取得もしくは満期退学をされた方は必要ありません)

国立大学法人奈良女子大学
男女共同参画推進機構 キャリア開発支援本部
本部長 岩渕修一殿

私、_____ は奈良女子大学ポストドクター・キャリア開発事業への参加を希望しますので、許可願います。

平成 年 月 日

名 前 : 印

博士号取得(見込)大学名:

単位取得満期退学(予定)大学名:

本事業への参加希望理由(600字程度)

(なぜ奈良女子大学の事業を通じてインターンシップを希望するかを明記してください。)

奈良女子大学ポストドクター・キャリア開発事業

応募様式 2-1

研究履歴および業績一覧表

名 前 _____

これまでの研究概要を記入してください（必要に応じて行数調整可）。

大学	学部	学科
研究指導教員		
論文テーマ		
研究概要		
大学大学院博士前期課程	研究科	専攻
研究指導教員		
論文テーマ		
研究概要		
大学大学院博士後期課程	研究科	専攻
研究指導教員		
論文テーマ		
研究概要		
博士号取得後 / 満期退学後	研究科	専攻
研究指導教員		
論文テーマ		
研究概要		

応募様式 2-2

【研究業績一覧表】

名 前 _____

著書、論文、国内外の学会・研究会等での発表ごとに記入してください（必要に応じて行数調整可）。

(注)

* 著書の場合、著書名、著者名、出版社名、発行年（西暦）を記入

* 発表論文の場合、論文題名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発行年（西暦）を記入

* 国内外学会および研究会発表の場合、発表題目、発表者名（登壇者に下線）、会議名、受理審査の有無、発表年（西暦）を記入

著書	
論文	
学会・研究会等での発表	

応募様式 3.

名 前 _____

■インターンシップへの抱負（2次選考のプレゼンは以下の内容にもとづいて作成してください）

下記の項目について A4 2枚以内で記述してください。

1. 自分にとって相応しいと感じる将来の仕事・働き方（インターンシップとして行きたい、就職したいと思う企業・団体等があればそれも記載。体験してみたい仕事とそこから修得したい知識や技術でもよい）
2. その仕事で達成したいこと
3. 自分の研究の紹介
4. 自分の強みと、研究の過程やそれ以外の場面で習得した転用可能な能力
5. インターンシップ先、就職先確保のために自分でできること

平成27年度 国際日本文化研究センター
特別共同利用研究員受入要項

大学共同利用機関は、それぞれの機関が目的とする研究等を行うほか、国公立大学の要請に応じ大学院における教育研究に協力しております。

日文研では、大学院学生のうち日本文化及びこれに関連する分野の専攻者を「特別共同利用研究員」として受入れ、必要な研究指導を行います。

1. 受入人数
若干名

2. 受入対象
原則として、大学院博士課程(前期2年及び後期3年の課程に区分する博士課程にあつては、後期3年の課程とする。)に在籍し、日本文化及びこれに関連する分野を専攻する者

3. 提出書類
(1) 所属する大学院研究科の長の依頼書(様式1)
(2) 所属する大学院の指導教員の推薦書(様式2)
(3) 当該学生の略歴(様式3)
(4) 当該学生の研究業績(様式4)
(5) 当該学生の在学証明書及び成績証明書

4. 受入期間
(1) 平成27年4月1日(水)から平成28年3月31日(木)まで
(2) 平成27年10月1日(木)から平成28年9月30日(金)まで
※受入れの期間は、原則として1年以内とし、特別共同利用研究員の研究状況により、当該大学院の申出があつた場合、審査の上、その期間を1年に限り延長することができます。

5. 研究場所
国際日本文化研究センター(京都市西京区御陵大枝山町3-2)

6. 提出期限
(1) 平成27年4月1日(水)からの受入れは、平成27年2月6日(金)までとします。
(2) 平成27年10月1日(木)からの受入れは、平成27年8月7日(金)までとします。

7. 特別共同利用研究員の決定

提出された書類に基づき、審査の上、決定します。

なお、その結果は、所属する大学院研究科の長及び本人に通知します。

8. 指導項目及び指導教員

国際日本文化研究センターのウェブページ（研究者一覧）をご参照ください。

→<http://research.nichibun.ac.jp/ja/>

(注) 申請する場合は、あらかじめ委託希望の指導教員の内諾を得てください。

9. 研究指導に係る費用

国・公・私立大学の如何にかかわらず徴収しません。

10. その他

- ・特別共同利用研究員として受け入れた大学院学生に対する単位の認定及び学位論文の審査や学位の授与に関しては、本センターが直接関与するものではなく、それらは当該大学院学生が在籍する大学院で行うことを前提としています。
- ・当センターでは、災害補償制度は準備していないので、あらかじめ所属大学で、公益財団法人日本国際教育支援協会の行っている学生教育研究災害傷害保険等に加入してください。

11. 問い合わせ・書類提出先

〒 610-1192 京都市西京区御陵大枝山町 3-2

国際日本文化研究センター研究協力課研究支援係

TEL. 075(335)2044

FAX. 075(335)2092

E-mail. kyoudou@nichibun.ac.jp

ウェブページ http://www.nichibun.ac.jp/ja/education/special_s.html

(様式1)

平成 年 月 日

国際日本文化研究センター所長 殿

大学院研究科の長

氏 名 印

国際日本文化研究センターへの大学院学生
の委託について (依頼)

このことについて、下記の者を貴センターの特別共同利用研究員として委託したいので、
よろしくお取り計らい願います。

記

氏 名	
現 住 所	
在学中の大学院に おける専攻及び 研 究 題 目	
委 託 希 望 の 研 究 内 容	
委 託 希 望 の 指 導 教 員 名	
委 託 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

※委託希望の指導教員の内諾を得た上で、申請すること。

(様式2)

推 薦 書

平成 年 月 日

国際日本文化研究センター所長 殿

指 導 教 員

職 名

氏 名

㊟

貴センターの特別共同利用研究員として下記の者を推薦いたします。

記

推薦する学生の氏名	
所属研究科・専攻	
推 薦 理 由 ※本人評価及び本センターで研究指導を受ける必要性については必ず記入してください。	

略 歴

平成 年 月 日現在

ふりがな	印	性別	年 月 日 生
氏 名		男・女	満 才

現住所〒	国籍
E-mail :	電 話 ()

年号	年	月	学 歴 ・ 職 業	卒業・修了・中退
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				

※学歴は高等学校卒業から記入のこと。

(様式4)

研 究 業 績

学部卒業論文名	
---------	--

修士学位論文名	
---------	--

著 書 及 び 学 術 論 文 名	発行又は 発表年月日	掲載誌名 又は学会名	発行所 (著書のみ)

※研究業績には学会等における口頭発表を含めてもよい。